



本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

…会員随時募集中！…

〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内 TEL/FAX：0467-47-1164 木曜を除く 10時～16時  
Web URL：<http://www1.ocn.ne.jp/~ya-yato/> E メールアドレス：[ya-yato@arrow.ocn.ne.jp](mailto:ya-yato@arrow.ocn.ne.jp)

# 谷戸に新しい風が吹き始めています

会員登録・賛助会員募集中！



4/14 畑班 こんにゃく芋の植付け

もくじ

☆各班からのお知らせ  
→2・3p ☆谷戸の自然だより→4  
p ☆谷戸往来→p5 ☆谷戸の体  
験学習→6・7p ☆5～7月の日  
程表(裏表紙)

寒さの後に急に訪れた暖かさのせいか、山すそを一面に染める野の花も、茂りすぎた木々からまるツル性の花も、早々とたっぷり咲き乱れました。日々厚みを増していく谷戸の草木、めざましい成長を遂げる小さな生きものたちに触発されながら、集う私たちは、少しずつ新たな班活動に手を染めてみましょうか。新人の会員さんは、新しい風を吹き込んでください。

今年度も活動支援に助成金をいただきました。★もり・みず市民事業支援補助金

# 各班からのお知らせ



## 田んぼ班

★5/4(土・祝)、5(日)田うない ★12(日) 畔の草刈り  
★18(土)、19(日)、26(日) くらつけ

田植えまでに育苗する苗床を整地していると、シュレーゲルアオガエルの大合唱が聞こえてきます。ここへ蒔く種籾は、少しでも元気に発芽してくれるように、塩水に入れて沈んだものを選んで、水に浸けてあります。さあ、今年も米作りの開始です！



4/14 苗床整備



## 畑班 ★5/5(日)じゃがいもの芽欠き・土寄せ

★12(日)植付け準備・草取り・耕し・畝作り

★19(日) さつまいもの苗植え ★26(日) そら豆の収穫・落花生の種蒔き

谷戸の畑は満開の菜花や小松菜の花の黄色と、大根の花の白や薄紫色、そしてさやえんどうの花の桃色と赤紫色が目にも鮮やかで、まさに春爛漫の景色を楽しめました。作物も順調に育ち、小麦、大



4/7 ごぼうの種蒔き・耕し

麦は穂を伸ばし、さやえんどうは実をつけ、じゃがいもの芽も出揃いました。4月は大忙しで、ごぼうの種蒔き、こんにゃくいも、さといもの植え付けをしながら、さつまいもの苗床を見守ってきました。5月に入ると、いよいよさつまいもの苗の植え付けが始まり、6月にはたのくろ豆の種蒔きに麦の収穫が待っています。新緑が美しいこの季節、谷戸の畑で汗を流して、風に吹かれるのが実に気持ちよく、「ぜひ一緒に…」と言いたくなるのです。



## 雑木林管理班

★5/12(日)鎌を研いで草刈り ★26(日)土手の手入れ

冬の間の枯木・危険木などの除間伐、雑木林の下草刈りが終了しました。昨年度は、クヌギ・コナラの植樹や森林の木まいぼくの毎木調査（一本ずつの木の名前や大きさをしらべること）にも活動を広げてきました。

これから秋までは、田んぼの農作業などのかたわら、土手の草刈りなどの作業を実施していきます。



4/28 雑木林の除間伐



## 農芸班

★6/7(金)梅干し作り（収穫・下漬け）

★7/26(金)梅干し作り（赤じぞ仕込み）

梅雨はどうして梅の雨と書くのかご存知でしたか？梅雨の梅は実の方を指しています。梅の実を収穫するのはまさに梅雨の季節。中国では梅の実が熟す頃に降る雨のことを「梅雨」と呼んでいて、江戸時代に日本に伝わったそうです。梅にとってはまさに恵みの雨になります。作る人によって味が違うと言われる「梅干し」。塩分20%の昔ながらの谷戸の梅干しを、収穫から味わっていただきたいです。



昨年の梅の天日干しの様子





## 自然遊び班

3月3日(日)に行われたこども里山一日体験「昔あそび」では竹笛を自分で作って鳴らしたり、竹馬乗りに挑戦しました。手と足が思うように動かず、バランスを取るのが難しい竹馬に、子ども達は根気よく取り組んでいました。また3月17(日)父と子の里山体験「竹でお椀と箸作り」では、竹をのこぎりで切り、やすりでなめらかにし、小さな子どもも大人も真剣にそして参加者同士わきあいあいと作業に取り組んでいました。でき上がった自分のお椀と箸にそれぞれ満足気でした。



3/3 昔遊び



3/17 竹でお椀と箸作り

★5/12(日)

### こども里山一日体験「昔遊び」

遊びの名人のおじさんと一緒に、竹馬や竹笛などを作って遊びます。谷戸の新緑が美しい季節です。水筒を持ってのんびりとした一日をお過ごし下さい。



## 生態系保全班

★5/8(水)水路の手入と観察 ★6/1(日)、15(日)夜の自然観察  
★6/3(月)田の生物調査

外来種のアカガエルが種をつける前に今年も除去しています。その甲斐があつてか、昔からあるホトケノザが増えました。田んぼで2月に生まれたアカガエルのオタマジャクシが大きくなり、元気に泳ぐ姿が見られます。しかし残念なことに、以前に比べ数が減っています。今年からオタマジャクシの保護ネットを張り、守っていこうと思います。



4/21 本田でオタマジャクシの調査



## 植物育成班

★5/15(水)植物調査  
★6/12(水)野草畑の手入れ

4月に野草の種を撒きました。野菜と違いなかなか発芽しません。もう駄目かと思った頃、芽を出すことが多いです。ヤブデマリの木を苗を会員さんからもらい、野草畑に植えました。谷戸には1本しかないので、増えることを願っています。小さい野草が雑草に負けないよう手入れもします。野草畑の草取りは難しいですが、よく観察すると見分ける力がつきます。野草が育つ様子、分布なども調査していきます。

～参加者の声～ 植物育成班の活動には自主活動も含めて3年間参加してきた。先日は「ノダケ」という植物の苗を谷戸の苗床に移植した。「ノダケ」の種は一昨年秋に園内で採取し、翌春に我が家で蒔いて1年間育てたものである。パンジーやキンセンカは数か月で大きく育ち実まで結ぶが、野の花はそうはいかないことをこの「ノダケ」でも体験した。1年間経っても草丈は3センチ位で小さな葉がまだ2~3枚しかない。いったい何年かかって開花するのだろうか?安定した大きな株になったところで盗掘されたら目も当てられないが、幸い地味な花なので園内のどこかでひっそりと根を張ってほしいと思っている。(河合香子)



4/1 野草畑の手入れ

# 谷戸の自然だより

## ～里山（雑木林）が荒れるとは？ その1～

前回まで・鎌倉の森は常緑樹が増えて原生林（その土地本来の自然の森）に戻りつつあるが、鎌倉の場合は原生林に戻してもあまり豊かな森にならないこと・雑木林を放置した結果、落葉樹の種類が増え、大木が育ったことで生態系を豊かにした面があること・反面、昔からの雑木林の生物が減っていること、を書きました。しかし、昔の雑木林をイメージするだけでは充分とは言えません。それは、里山の荒廢の仕方がさまざまであり、木の種類が増えて生態系を豊かにした面もあるなど、かつてない複雑な状況になっているからです。限られた労働力で、多様な里山の生きものを保全するために、里山（雑木林）の荒廢を細かく分析して考えたいと思います。

以下は鎌倉市の植生図の区分に対応しながら、現状を説明したものです。

### ① 昔からの雑木林（コナラ、クヌギ、ヤマザクラ）に、下からササや常緑樹が生えてきている林

荒れた雑木林の一般的なイメージ。台木状（切り株から数本の太い幹が出て、大木になっている状態）になっているクヌギ、コナラ、ヤマザクラが多い。炭焼き小屋の裏など緩やかな斜面に多い。手入れをすれば雑木林が復活する場所。荒れ方にはさまざまな段階がある。

### ② 昔からの雑木林（コナラ、クヌギ、ヤマザクラ）が、更新に失敗？ シデ（イヌシデ、クマシデ）が多い林。

一般に①との違いは認識されていないが①とは違って、台木状のクヌギやコナラが少なく、ミズキやシデなど新しく増えてきた落葉樹が多い。これらは台木状には育っていないので見分けられる。

疎林広場へ上がる道沿いの斜面など。①にくらべると手入れの優先度は低い。

### ③ 元々？スダジイ（シイの木）など常緑樹が多い林

急傾斜地、尾根筋に多い。自然度が高いとされている林だが、実際には植物の種類が少ない。急傾斜地で手入れがあまりされなかったり、尾根ではマツ林の跡がスダジイ林になっていることもある。台峯との境界部の尾根に多い。

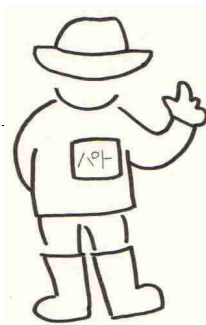
### ④ 急傾斜地でケヤキ、ムクノキ、イロハカエデ（モミジ）が目立つ林

谷戸の奥など溪谷のような場所に多い。谷戸の池周辺などで見られる。シイの木の林と同じく、自然度が高いとされている林だが、②と③と見分けがつきにくいこともある。倒れそうな木を切る以外は、特に手入れの必要はないと思われる。

次号につづく・・・。

## 谷戸の裏方⑤ ～ 谷戸パトロール ～

長靴を履いて、名札をつけて、谷戸内をキョロキョロしながら歩いている人を見かけたら、それは事務局当番のパトロール中の姿です。田んぼの畔が壊れていないか、畑の作物が倒れていないか、専門の農家並みに毎日見回るのが主な目的ですが、耕作地や保全区域に立ち入っている方を見かけたり、草花を採取している方を見かけると、ドキドキしながら声をかけさせていただいています。網を片手の小学生に「触ってもいいけど、元の川に返しておいてね」とか、昔の野山を懐かしむ中高年の方に「ここは公園なので、私物にはできないんです」など。いまやわずかになってしまった里山の自然が、末永く生き続けられるよう、ご協力をお願いします。





# 谷戸往來 谷戸往來 谷戸往來

## 県内で活躍するボランティアの交流会に参加 3/2(土)

(公財) かながわトラストみどり財団主催で、神奈川県地球市民かながわプラザにて県内で活動するボランティア団体が集まり、活動の紹介、交流会が行われました。当会の活動が多岐にわたっていることに多くの方々が驚かれ、話しが弾みました。鎌倉市からも3団体の参加があり、市内での活動連携の大切さもわかりました。

## 新しい公共支援事業「職員研修」を谷戸で開催 3/6(水)

NPO法人アクションポート横浜主催の、『行政とNPOの協働事業促進のための現地活動体験研修』を当会が任され、県、自治体職員8名の参加で行いました。映像で当会の活動紹介をした後、谷戸を歩きながらNPOとしての谷戸の管理運営を説明し、苗床予定地の草抜きや土ふるいの作業を体験してもらいました。最後は、政策、環境、企画などにかかわる若手職員たちの質問に答え、熱い意見交換会となりました。内容の濃い研修だったと、企画者からも好評でした。【参加者の感想】★今回の経験を実務に活かせるよう頑張りたい。

★今後も、このような研修があれば、違う部署の人達にも参加を呼び掛け市民の方々と共に街づくりができるよう、この経験を活かしていきたい。  
★(NPOからの)要望は熱心にやっているからこそ生じるものであり、行政としてもより真摯に受け止める必要があると感じた。★大変勉強になった。現場を見ることは、とても大切だと思った。



苗床の草抜き作業

## 協働事業推進のための研修会(ワールドカフェ) 3/26(火)

NPO法人鎌倉市市民活動センター運営会議と鎌倉市の共催で、鎌倉市職員研修の一環として、NPO団体と共に協働について学ぶ研修会が行われました。市民側行政側それぞれ約30名ずつの参加があり、協働の課題や協働のメリットデメリットについてなど、率直な意見を出し合いました。一方的に講義を聴くのとは違い、行政職員も積極的に発言したり、まとめ役を買って出たりする姿勢が見られ、互いの立場を理解する意味で、一歩前進できたと思います。研修会終了後、基調講演をしていただいた講師からも、「市民活動団体からの提案を行政が受け、このような研修会が開催されていることは素晴らしい」とのお褒めの言葉をいただきました。地道な積み重ねで、「協働」をきちんと理解し、伝え広めていく役割を果たしていきたいものです。



## 認知症の方と家族が楽しむ“かまくら散歩”を当公園で開催 3/24(日)

桜・レンギョウ・菜の花・花桃などが満開の中、当会と公園協会の協力のもと、『かまくら認知症ネットワーク』主催で行われました。

参加者は認知症のご本人とそのサポーター31人。当会はおやつのよもぎ団子作りと谷戸案内を担当しました。公園協会はおやつのハーブティー担当で、ハーブの摘み方・ハーブティーの入れ方と効能を指導してくださいました。よもぎの香り

の団子は「柔らかくておいしい！」と好評。オカリナに合わせて歌う時間もあり、閉じこもりがちになる認知症のご本人とご家族に、外に出て交流の機会を持っていただくことができました。(当会と公園協会は昨年、認知症サポーター養成講座を受け、認知症の方に対応するスタッフがいることを示す、ロバのマークのステッカーをいただいています)。



ハーブの紹介をしている

## オリエンテーション開催 4/14(日)

子どもも含め 50 名あまりが参加され、研修室は満員となりました。当会の概要と谷戸塾の説明を聞いていただき、その後、谷戸歩きをしました。苗床や畑の作業を見学し、活動への理解がいっそう深まったのでしょうか。新メニュー「里山探険隊」申込みの親子で盛り上がりました。



## ホタルの紙芝居を読んでもらえる ボランティアの方募集!



谷戸はみなさんの日頃の里山保全活動のおかげで、田や湿地が守られ、ホタルが生息しています。毎年6～7月中旬まで、ホタルを観賞するためのマナーや、ホタルの生態を知っていただくために、青空自主保育グループ、町内会、小学校のご協力によって、手作りの紙芝居を上演しています。お友だちやご家族の方を誘って、ホタルの紙芝居ボランティアに参加してみませんか。山崎の谷戸のホタルたちのために、ご協力よろしくをお願いします。

日程：6/1、15、7/6、20  
時間：18:30～20:30(閉園時間帯につき駐車場は利用できません)  
集合場所：山崎口しいし前のベンチ  
服装：長袖・長ズボン

お申し込み&お問い合わせは事務局まで  
電話 or Fax or メールにて